

## 中学校 特別活動 部会

部会長名 福智町立赤池中学校 校長 堀川 浩昭  
実践者名 香春町立勾金中学校 教諭 新貝 拓二

### 1 研究主題

人間関係づくりの視点を取り入れた合唱コンクールの取組  
～「学び合い」学習の理念を通して～

### 2 主題設定の理由

#### (1) 社会の要請から

現代社会は国際化、グローバル化が進み、多様な考えとの共存や協力が必要となっている。そのため、多様な考えに対する知識・理解および対応力や自分の考えを表現する力が求められている。しかし、日本の児童生徒には「記述式問題・活用する問題が苦手」「学習意欲や学習習慣・生活習慣」「自分への自信の欠如」などの課題があり、知・徳・体のバランスとともに、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力及び学習意欲を重視し、これらを調和的にはぐくむことが重要であると言われている。

元来、日本の教育は「全人教育」と言われており、「人間関係」「社会参画」「自己実現」を柱とした世界でも特徴ある教育が行われており、「粘り強さ」「チームワーク」「主体性」「コミュニケーション」など将来につながる力が求められている。その中で、特別活動には「人格的、社会的な自立を培う」「自主的、実践的な態度を育む」「魅力ある学級・学校づくりを実現する」「学級経営や学業指導、進路指導」「集団活動を通して個を鍛える」「中学生期の教育課題に向き合う」「人間関係や豊かな人間性を育てる」「問題解決に関わる実践的な指導力を高める」といった役割があり、現在の日本の児童生徒の課題解決に有効であると考えている。

#### (2) 学校の状況から

校訓：勤勉 礼儀 奉仕

学校教育目標：心豊かでたくましく、意欲あふれる生徒の育成

研究主題：学習意欲を持って、自ら学び、みんなが「わかった」と言える  
授業づくりを目指して

～「学び合い」学習を通じた言語活動の充実～

本校の校訓、学校教育目標ともに、特別活動の目標が含まれており、特別活動を充実させることで学校教育目標の達成に近づくことができると言える。また、研究主題に対しても、「特別活動に意欲を持ち、主体的に取り組み、みんなが目標達成ができた」と言える活動を、「学び合い」の理念を持って行うことにより、主題達成に近づくと考えている。

### (3) 生徒の実態から

本学級の生徒は、年度当初と2学期始めに男子が1名ずつ転校してきており、現在計29名である。1・2年生の頃は規範意識が低く、自己中心的な言動も目立ち、友人間のトラブルも多かったが、学年が上がるにつれ互いに成長してきた。現在はリーダーシップをとれる生徒と協力する生徒がよい距離感で存在しており、様々な活動において協力し合うことができている。「学び合い」学習も徐々に定着しつつあり、グループを超えて学習する姿も見られてきた。2人の転校生に対しても寛容で、声かけや励ましを行い、学級の一員として受け入れている。本年度は特別活動でも生徒主体の活動を多く取り入れている。その中で、少数意見の活かし方、会の進行のルール、目標の立て方（結果ではなく取組過程が重要）、話し合いの重要性など、少しずつではあるが体感してきているようである。1学期の体育会でもいろんなトラブルや個々人の温度差はありながらも、リーダーを中心にまとまって取り組み、優勝することができた。

合唱コンクールは中学校生活最後の学校行事である。3年間、様々な経験を積んできた生徒にとって、集大成ともいえる学校行事である。体育会との2冠を目指し、意識の高い生徒も多い。このことから、より望ましい人間関係づくりを進めるためにも有効であると考えている。

## 3 主題の意味

### (1) 「人間関係づくりの視点」とは

様々な取組において、認め合い、支え合い、協力し合うことにより、自他の存在を尊重し、望ましい人間関係の構築を目指すことである。

### (2) 「『学び合い』学習の理念」とは

意見の交流を双方行で行うことにより説明する力や理解する力を身につけ、お互いの意見や考え、立場を尊重し、折り合いをつけながら集団決定をしていく力を身につけることである。

## 4 研究の目標

学校行事の取組を通して、特別活動における望ましい人間関係の構築のために、「学び合い」の理念を効果的に用いた取組を行う。

## 5 研究の仮説

特別活動において、「学び合い」の理念を用いて人間関係づくりを行えば、目標に対する達成感、集団の一体感を体感し、人間関係、社会参画、自己実現の力を培うことができるであろう。

## 6 研究の計画

### (1) 単元 「合唱コンクールに向けて」

### (2) 単元の目標及び指導計画

- 合唱コンクールの成功に向け、学級での話し合い活動で自他の意見や立場を尊重し、認め合い、協力し合い、支え合いながら、主体的に取り組むに参画していく態度を育てる。

指導計画

日程	活動内容	活動時間	指導上の留意点
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題曲・全校合唱曲決定</li> <li>・ パート分け、パートリーダー決定</li> <li>・ ピアノ伴奏者決定</li> <li>・ ブロック合唱曲アンケート</li> <li>・ 学級自由曲・ブロック合唱曲決定</li> <li>・ 指揮者決定</li> <li>・ 合唱コンクール実行委員決め</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の自主性の育成、人間関係づくりの観点から、係については、立候補を優先し、学級の総意により決定する。</li> </ul>
夏季休業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CDによる自主練習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CDができ次第配付する。</li> </ul>
9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合唱練習開始</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パートリーダーを中心に練習、CDデッキの管理を行う。</li> </ul>
9 月 2 9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級スローガン決定</li> </ul>	学活 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自他の意見を大切にする。</li> <li>・ 「学び合い」の理念に則り、生徒主体で進行し、集団決定を行う。</li> </ul>
1 0 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合唱練習 (学級・全校・ブロック)</li> </ul>	音楽 学活 放課後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実行委員、パートリーダーを中心に取り組む。</li> <li>・ 実行委員は、担任、音楽科と相談しながら練習計画を立てる。</li> </ul>
1 0 月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スローガン作成</li> </ul>	学活 放課後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模造紙にスローガンを作成する。</li> </ul>
1 0 月 1 2 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約束事決定</li> </ul>	学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各自で考えた「頑張ること」をもとに、全員ができる約束事を決める。</li> </ul>
1 0 月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メッセージシート掲示</li> </ul>	放課後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教室背面に模造紙を設置し各自の思いやアドバイスを書かせる。</li> <li>・ 相手の中傷したり攻撃したりする内容は書かないようにする。</li> </ul>
1 0 月 3 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合唱コンクールリハーサル</li> </ul>	学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実行委員に進行させる。</li> </ul>
1 1 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合唱コンクール</li> </ul>	学校行事	

7 指導の実際

(1)日時 平成28年9月29日(木)

(2)展開

過程	活動内容	指導上の留意点	形態
導入	1 合唱コンクールに向けて意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の変更点(ブロック合唱の追加)を知らせ、最上級生としての自覚を促す。</li> <li>・体育会の振り返りを行うとともに、3年生として最後の学校行事であることを押さえる。</li> </ul>	全
展開	2 活動テーマを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">合唱コンクールの成功に向けて、学級スローガンを考えよう</div>		
	3 合唱コンクールの成功のために、どんなことが必要か考える。 ○ 以下の10項目で、必要だと思うものから順位をつける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">音程, 指揮者との一体感, 団結, 強弱の工夫, 一生懸命さ, 指揮者の技能, ピアノの技能, 声の大きさ, 態度, 支え合い</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの項目も大切であることを告げる。</li> <li>・人と相談せず、自分の意見を決定させる。</li> </ul>	個
	4 学級の傾向を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのベスト3を挙手により意思表示させるとともにそれを集約し、どの項目が学級の意見として多いのか視覚的に確認させる。</li> </ul>	全
	5 学級の傾向をもとに、学級スローガンを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱委員に進行をさせる。</li> <li>・始めに個人で考えさせ、自分の意見を持たせる。次に班で意見交流させ、班としての意見を作る。最後に全体で発表し合い、学級スローガンを集団決定する。</li> <li>・スローガン決定に向け、担任としての思いを告げる。</li> </ul> ①結果ではなく過程を大切に ②全員の意見が反映されること ③みんなの気持ちが高まること	個 ↓ 班 ↓ 全

	6 スローガン達成のために、自分が頑張ろうと思うことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員で取り組む行事であることを再確認する。</li> <li>自分の役割や努力点をそれぞれに認識させる。</li> </ul>	個
終末	7 次時の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が頑張ろうと思うことをもとに、スローガン達成に向けた学級の約束を決めることを告げる。</li> </ul>	全

学級活動資料 「合唱コンクールに向けて①」 H28/9/29  
3年組 番氏名

まもなく、合唱コンクールの取組が始まります。今年の合唱コンクールは、中学校生活最後のコンクールとなります。今年は今までと違い、ブロック合唱が追加されました。学級はもちろん、ブロックとしても全員、そして、グランプリ目指して頑張きましょう。

① では、合唱コンクールを成功させるためには、どんなことが必要だと考えていますか？ 次の10項目の中から、必要と思うものから順番をつけてみましょう。(どれも大切ですが…)

A 音程	F 指揮者の技能
B 指揮者との一体感	G ピアノの技能
C 団結	H 声の大きさ
D 強弱の工夫	I 態度
E 一生懸命さ	J 支え合い

① まずは自分で…

絶対必要

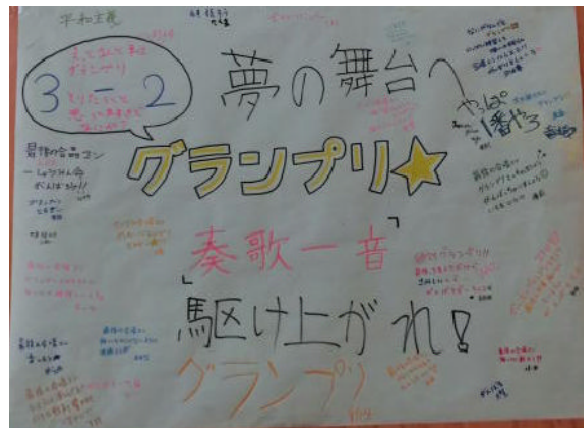
できれば必要

② 学級のみんなの意見は…

【ワークシート】



【学級スローガン】



【メッセージシート】



【当日：学級合唱】



【当日：ブロック合唱】

## 8 研究の成果と課題

### (1) 成果

- 「学び合い」の理念を取り入れることで、お互いの存在を尊重し、認め合い、協力し合う姿が多く見られるようになった。
- 生徒主体の活動を仕組むことにより、悩みながらも生き生きと取り組む姿が見られた。
- 学級スローガンを集団決定することにより、自分たちのスローガンという意識が強まり、自己目標や学級の約束事も具体的に考えることができた。また、その後の練習もスムーズに取り組むことができた。

### (2) 課題

- 人間関係づくりがよりスムーズになるよう、「学び合い」の理念を学校行事だけでなく、教科学習や短学活などにも取り入れる。
- 特別活動と総合的な学習、道徳、教科との関連を図りながら、取組の充実を図る。

### ◎ 参考文献

- 「中学校学習指導要領解説 特別活動編」 (文部科学省) 平成20年9月
- 「学級・学校文化を創る特別活動 中学校編」  
(文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター) 平成26年6月